

## 試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	研究
課題名：千葉県千倉町地先におけるサザエの成熟			
<p>[ 要約 ] 2005年5月31日～9月10日の間，千倉町白子地先におけるサザエ生殖腺熟度指数は高く，卵巣内は成熟卵で満たされていることが，卵径組成や組織学的観察で明らかとなった。10月24日には一部個体で未熟卵が多くなり，組織学的にも卵放出の痕跡が認められた。いずれもの結果も5月下旬から9月上旬までの間，サザエが成熟状態にあることを示していた。</p>			
キーワード：サザエ，成熟，熟度指数，卵径，組織			
実施機関名	主 査 水産総合研究センター 資源研究室 協力機関 実施期間 2005年度		

### [ 目的及び背景 ]

サザエ *Turbo (Batillus) cornutus* は、磯根漁業の重要な漁業対象資源であるが、その資源は変動が大きく、漁獲量は約100～1500トンの範囲で変動している。効果的な資源管理、資源の有効利用方策を検討する上で、資源状態を左右する成熟状況について把握しておくことは重要である。1979年に山本ら、1999～2000年にMatotoらによって本県のサザエの成熟状況が調べられた。山本らによると、6～7月は成熟期、8～9月には放卵個体が混ざり始める放卵期であり、10月の組織切片からは大型の卵母細胞が後退し始めるとされている。近年の成熟状況について過去の知見と比べ変化しているか否かを確認するために産卵期から卵母細胞が後退するまでの期間において季節的な生殖巣の変化を調べた。

### [ 成果内容 ]

- 1．熟度指数は5月31日から高い値であり，6月28日にピークをむかえ，9月10日まで高い値で推移し，10月24日，12月1日には徐々に低下していった（図1）。
- 2．卵径の分布のモードは5月31日に180 μmにあり，9月10日までは同程度で推移し，成熟卵で占められていた。10月24日には10～30 μmといった小型卵（未熟卵）の割合が増えた（図2）。
- 3．組織学観察によると，卵巣の成熟段階は5月31日から9月10日はほとんどの個体が放卵期で，10月24日には放卵終期が確認され，12月1日はほとんどが放卵終期となった（表1）。

### [ 留意事項 ]

### [ 普及対象地域 ]

### [ 行政上の措置 ]

### [ 普及状況 ]

[ 成果の概要 ]

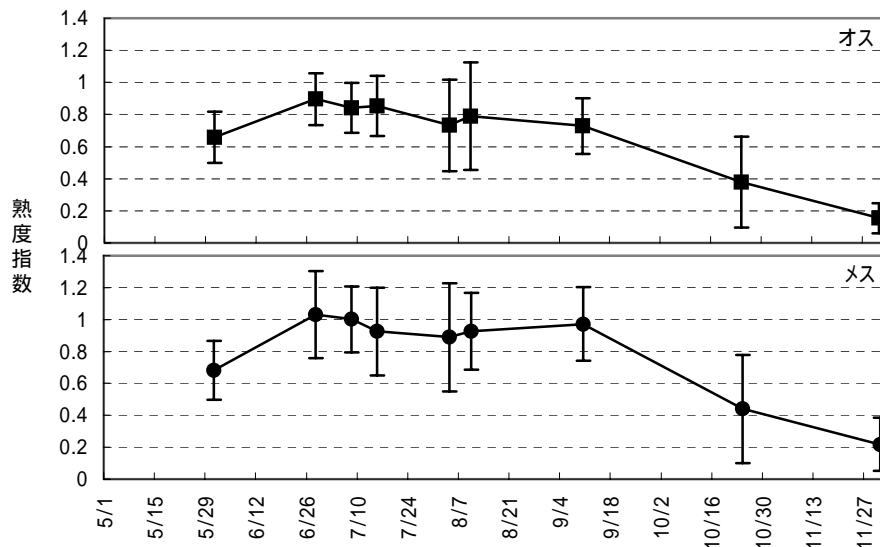


図1 成熟度指数の変化

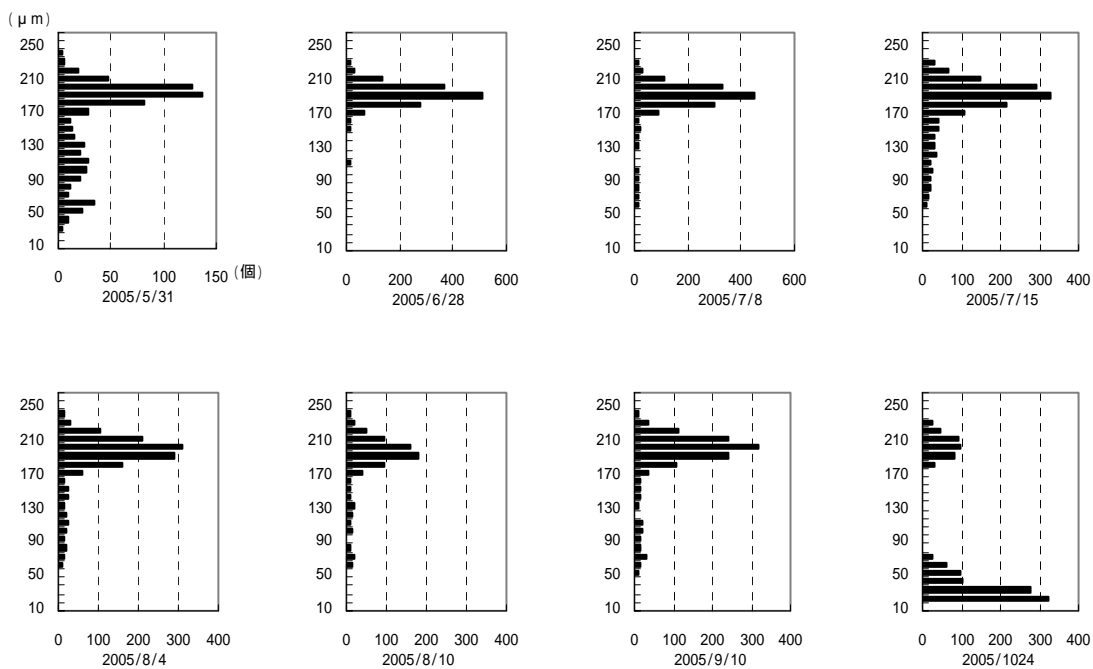


図2 卵径分布の変化

表1 卵形成過程の変化

卵巣の状態	5/31	6/28	7/8	7/15	8/4	8/10	9/10	10/24	12/1
回復期	0	0	0	0	0	0	0	1	2
成熟期	2	0	0	2	0	1	0	0	0
放卵期	5	15	15	13	14	7	13	7	0
放卵終期	0	0	0	0	0	0	0	5	9
合計	7	15	15	15	14	8	13	13	11

[ 発表及び関連文献 ]

千葉県千倉町地先におけるサザエ *Turbo (Batillus) cornutus* の成熟, 千葉県水産総合研究センター研究報告, 第1号, 2006年

[ その他 ]